



日本のディスクロージャーについて



FARALLON
Capital Management, L.L.C.

SAN FRANCISCO

LONDON

SINGAPORE

TOKYO

HONG KONG

SÃO PAULO

ファラロン・キャピタル・グループの概要

- Farallon Capital Management, L.L.C.は、1986年に設立された資産運用会社です
 - 大学の基金、慈善財団、年金を含む機関投資家及び富裕層のために資産を運用しています
 - 約180人の従業員を雇用しています
- サンフランシスコに本社があり、ロンドン、シンガポール、香港、東京、サンパウロに拠点を有しています
- 資本の保全を重視するボトムアップのファンダメンタル分析を通じて、優れたリスク調整後リターンを実現することを目指し、世界中のあらゆるアセットクラスに投資しています

主な投資戦略

- 我々は、以下の5つを主とする複数の投資戦略を、機会に応じて実行します：
 - クレジット投資
 - 上場株投資
 - 合併裁定取引
 - 不動産投資
 - 直接投資
- リスク管理分析ツールを用いているものの、我々は主として厳格なリサーチと分析を通じてリスクを管理します
- 我々は、投資先企業の経営陣と良好な関係を築くことを重視します

- 我々は、本質的な価値と比べて過小評価されていると考える会社に投資をします
- そういった過小評価は、一般的な市場環境、我々が一時的と考える会社固有の問題、経営陣や戦略の変更、他の市場参加者と我々の間の会社や市場に関する見解の相違、等から生じます
- また、スピンオフ等の企業組織再編、資本再構成、法的紛争、経営戦略の変更その他の大きな変化が生じている会社に対しても投資を実行します

上場株投資に共通する投資基準

- 魅力的な事業形態
 - 高い収益性を継続する力
- 経営陣との利害の一致
 - 適切な報酬体系が重要
- 価値を創造する資本政策
 - 資本コストと投下資本利益率（ROIC）の重視
 - 権力拡張（empire building）ではなく価値創造へのフォーカス

- 前向きな展開
 - スチュワードシップ・コード
 - コーポレートガバナンス・コード
 - 独立取締役の数の増加
 - ROEの改善
- 更なる改善の余地
 - 資本政策
 - インセンティブの調整
 - 取締役会の機能

日本のディスクロージャー (1)

- ひな型文言の使用
 - 事業の分析に関連したより詳細な記述が肝要
- 幹部の報酬
 - 長期の価値創造との合致が望ましい
 - インセンティブのより良い理解のため、関連するKPIを含む、トップの執行役と取締役の報酬のより詳細な開示が重要
- 重要な契約
 - 株主総会の決議を要するといった事情のない限り重要な契約の詳細は通常は開示されない。投資家にとっては、より詳細な開示が重要

- コーポレートガバナンス
 - 独立取締役の選任の際の考慮要素の開示
 - 形式ではなく、実質の重視
 - 例) 取締役会に要した時間の開示、独立取締役へのアクセス
- 四半期開示
 - KPIの継続的な測定のために重要
 - 先進国の市場における標準
- 資本政策
 - 株式持合い - より具体的な理由の説明
 - 過大な現預金 - 必要性の説明
 - セグメント情報 - ROICの目標及び戦略的合理性

ディスクレーマー

本資料は金融庁の要請に基づき、金融審議会「ディスクロージャーワーキング・グループ」のために作成されたものです。ファラロン・キャピタル・ジャパン合同会社（以下、「ファラロン・ジャパン」といいます）は日本で投資助言業者として登録しております。これらプレゼンテーション資料は、**Farallon Capital Management, L.L.C.**、**Farallon Partners L.L.C.**、**Farallon Capital Asia Pte. Ltd.**、ファラロン・ジャパンまたはこれらの関連会社、子会社、株主、社員、パートナー、従業員による、有価証券やその他権益の売付け勧誘には該当せず、ディスクロージャーワーキング・グループに対する情報提供のみを目的として作成されております。